

2022年7月15日

株式会社テイツー2023年2月期 第1四半期決算説明会資料

内容	ページ数
1. 当社の概要	P. 2
2. 2023年2月期 第1四半期決算概要	P. 8
3. 成長戦略の進捗状況	P. 14
4. その他	P. 23
5. 参考資料	P. 28

1. 当社の概要

会社概要

社名	株式会社テイツー
本社所在地	岡山県岡山市北区今村650番111
設立	1990年4月
代表者	代表取締役社長 藤原 克治
資本金	1億円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 本、ゲーム、トレカ、ホビー等の実店舗及びEC店舗での販売および買取・ トレカ取扱事業者への読取査定機等の提供
店舗屋号	古本市場（ふるほんいちば）、ふるいち、トレカパーク、MO-ZEAL（モ・ジール）、TSUTAYA、ベクトル
子会社	株式会社山徳
関連会社	インターピア株式会社、株式会社トップブックス

沿革

- 1989年 ・ 岡山市南区豊浜に「古本市場」を創業
- 1990年 ・ 株式会社テイツー設立
- 1994年 ・ 「古本市場」関西進出
- 1995年 ・ POS導入開始
- 1997年 ・ 「古本市場」関東進出
- 1999年 ・ 株式店頭公開（現東証スタンダード）
- 2002年 ・ ポイントカード「ふる1カード」導入
- 2010年 ・ 「古本市場」直営店が100店舗突破
- 2013年 ・ トレカ専門店の1号店を新規出店
- 2019年 ・ 「TAYS(テイズ)」を直営店舗で運用開始
- 2020年 ・ 新たなPOSシステム「TPOS」の導入完了
・ 山徳の株式を取得し完全子会社化
- 2021年 ・ グループビジョンと成長戦略を公表
・ グループECサイト構築を決定
- 2022年 ・ 「TAYS(テイズ)」の外販第1号の提供開始
・ 買取王国社と業務提携基本契約を締結

グループビジョン

- 「満足を創る」という経営理念のもと、「リユースで地域と世界をつなぐ」というグループビジョンを掲げ、リユース領域を中心にビジネスを展開しております
- 直近では、EC領域の強化やBtoB領域への進出など、従来型のビジネスからの転換を急速に進めております

グループビジョン：リユースで地域と世界をつなぐ

リユース(再利用)を事業の中核に位置付け、リアル店舗網に加えECで出店エリア外の地域をカバーしつつ事業展開し、販路を海外にも拡大することを推進する。また、リユースを通じて社会貢献を果たし、グループ経営理念の「満足を創る」を実現する。

グループビジョン目指してそれぞれの事業領域で注力する事項

リユースEC領域

- 「ふるいちオンライン」のリリース
- 拠点・人員投資

リユース店舗領域

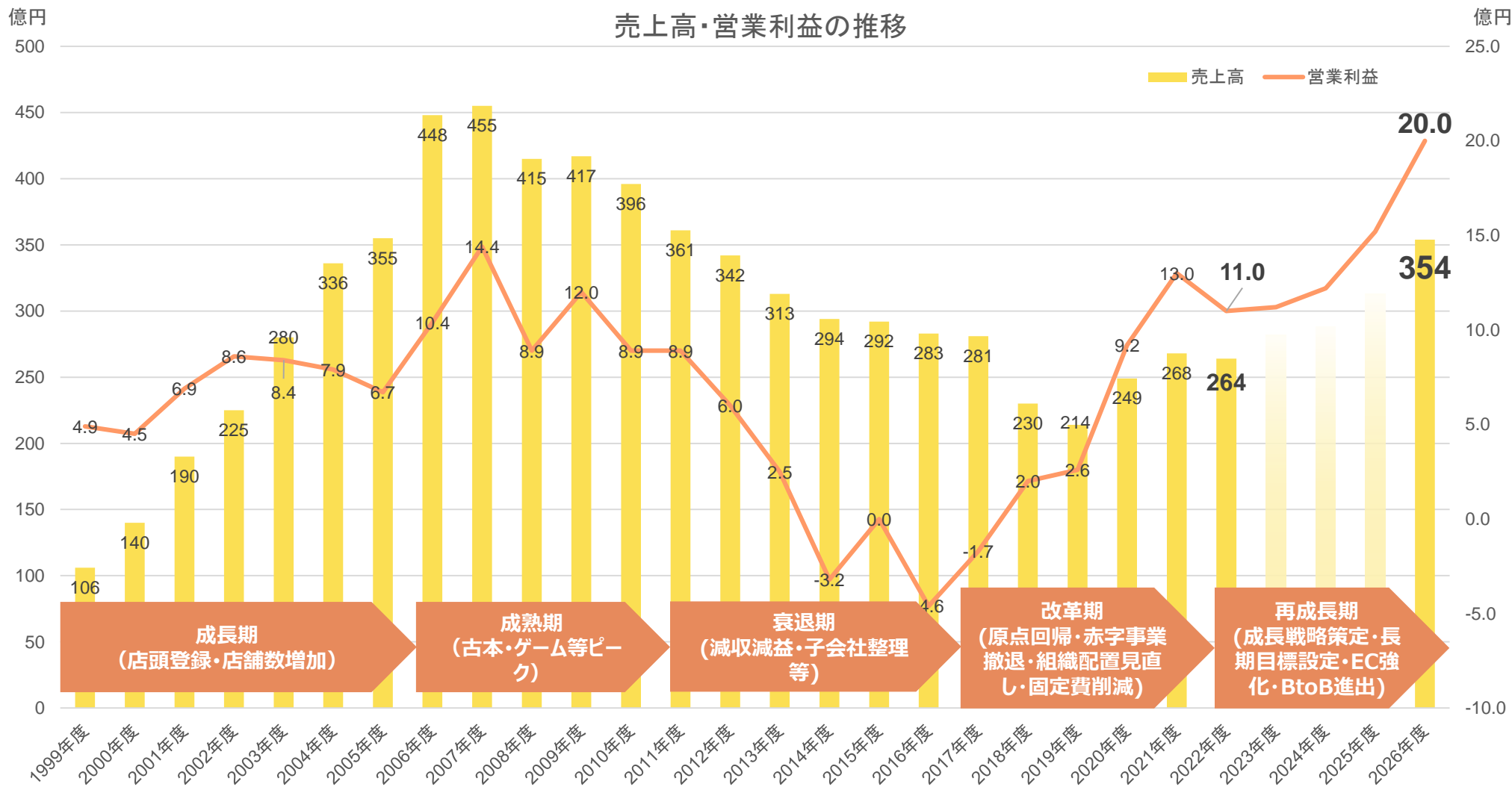
- EC販路構築
- 商材多様化
- 「ふるいち」出店加速

リユースBtoB領域

- TAYSの拡販
- トレカ自販機AIICO外販
- TAYS他システムとの連携

上場以来の成長推移

- 現在の当社は衰退期を完全に脱し、改革期を経て、**再成長期**に移行していると認識しております
- リユースEC領域を強化し、リユースBtoB領域に進出することで2027年2月期に**営業利益20億円**を目指しています



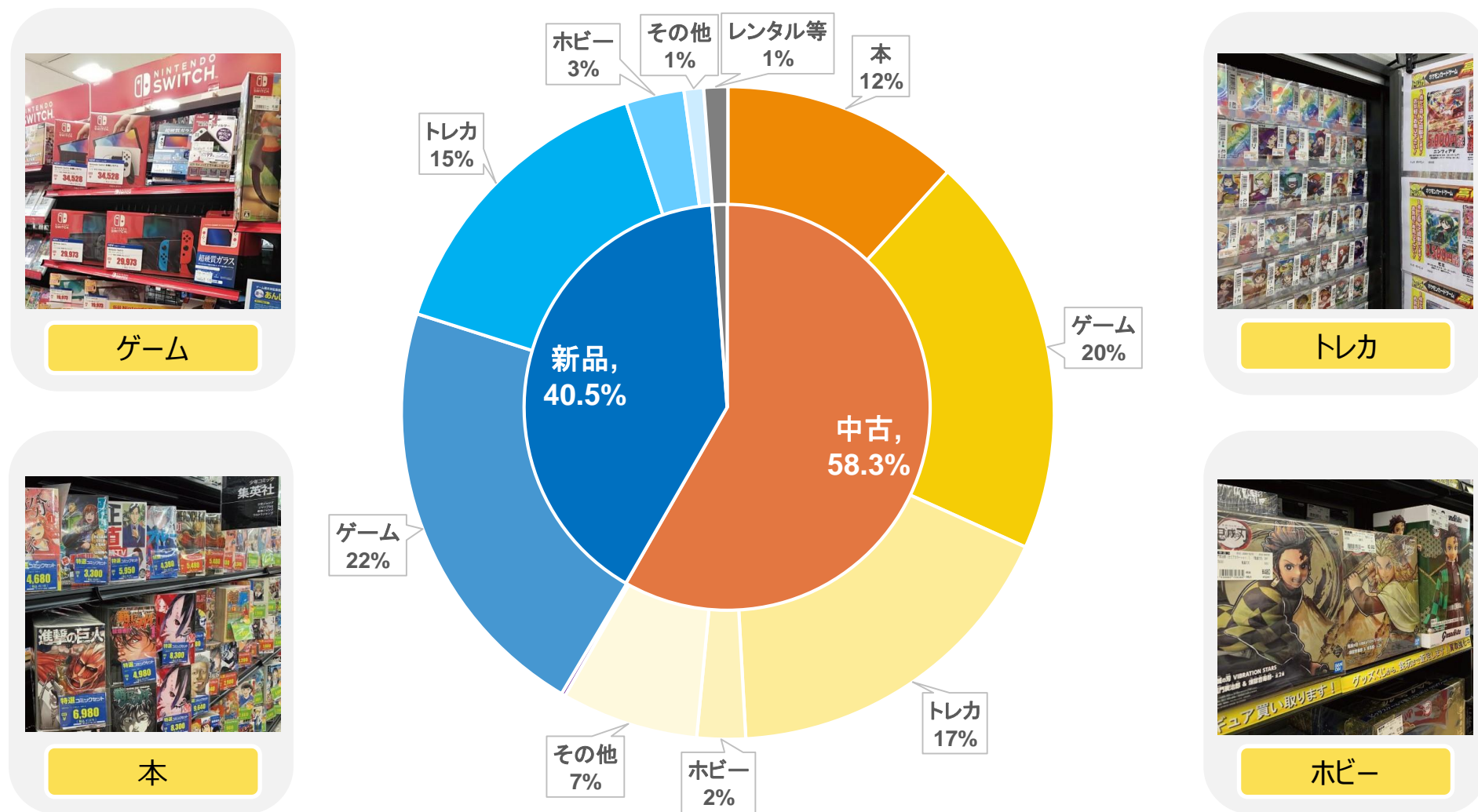
展開している店舗屋号と店舗数

- 当社は古本市場を中心に、地域特性や競合環境に合わせて複数の業態で出店をしております
- 直近では特にゲーム、トレカ、ホビーに特化した古本市場の小型パッケージ「ふるいち」の出店を強化しております

2023年5月末時点		中古					新品					
ブランド名	直営店舗数	本	ゲーム	トレカ	ホビー	その他	本	ゲーム	トレカ	ホビー	その他	レンタル
	84 (店)	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	-
	18 (店)	△	○	○	○	○	-	○	○	○	△	-
	5 (店)	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
	1 (店)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	1 (店)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	1 (店)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	2 (店)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○

商材別売上高構成比








- 第1四半期の商材構成比は、トレカ中古が伸長したこともあり、**中古の構成比が58%**に達しました
- 集客力の高い新品と利益率の高い中古品の比率を適切に管理しつつ、事業を展開しております



2. 2023年2月期 第1四半期決算概要

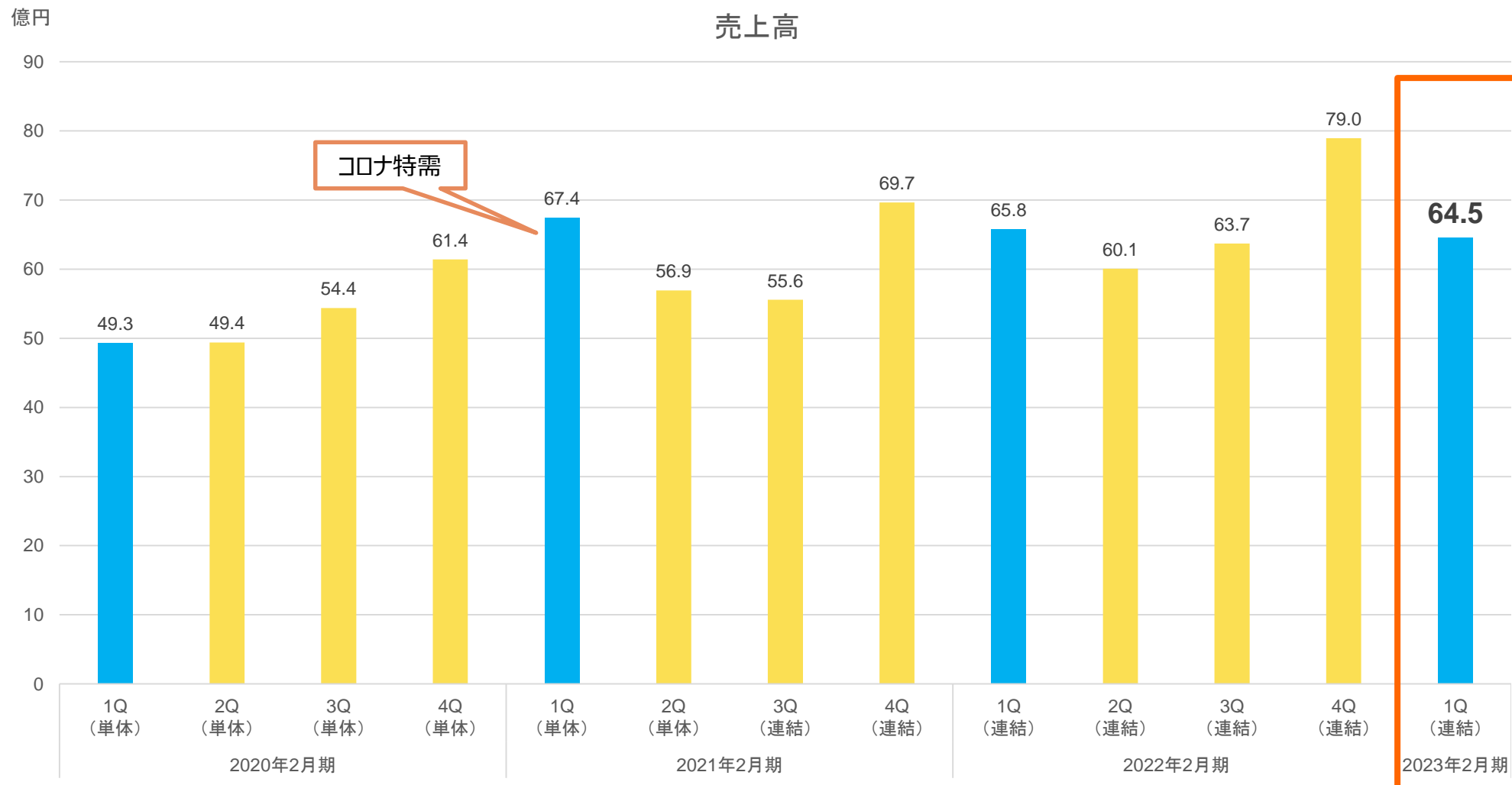
主要セグメントの1Q経過時点の動向

- 今期1Qは前期に引き続き新品・中古ともトレカが絶好調で、会社業績に大きく貢献しています
- ゲームは新品の落ち込みを、中古の買取強化と在庫コントロールでカバーして利益貢献しました

		業績	昨対比	主なポイント
中古品	本		95%	<ul style="list-style-type: none"> • 供給縮小や電子化移行の流れの中、コミックのセット本取り扱いの優位性を活かし、EC含めた販売チャンネルの拡大のみならず、集客機能としての活用も進めています • ふるいち会員に対する販促施策の展開で、前年比100%の維持に注力します
	ゲーム		104%	<ul style="list-style-type: none"> • レトロゲーム需要の取り込みやEC含めた販売チャンネルの拡大により収益を確保しています • 中古では、引き続き最も大きな売上高を有する商材です
	トレカ		159%	<ul style="list-style-type: none"> • トレカは、リアル社交性遊戯アイテムとして引き続き強い市場拡大が見込める領域です • BtoBビジネスの展開も進めており、主力商材として今後も強化していく方針です
	ホビー		138%	<ul style="list-style-type: none"> • フィギュア、プラモデルなどの買取強化に伴い売上が伸びております • イオンモール店舗との相性が良く今後中古で大きく売上を伸ばせる商材です
新品	ゲーム		66%	<ul style="list-style-type: none"> • ゲーム新品については、新作タイトルの発売等による影響を強く受けます • 1Qは目ぼしい新作タイトルの発売が無く、大きく前年割れでした
	トレカ		130%	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き新作が多数発売され、市場は非常に活況でした • 当社の新品仕入れの調達力を活かして、大きく売上高を伸ばしました
	ホビー		90%	<ul style="list-style-type: none"> • グッズくじは規模が拡大しておりますが、発売延期タイトルが多く、1Q期間中昨年と比べて発売タイトル数が減少しました • 下期へむけて在庫整理を行い売上拡大を目指します

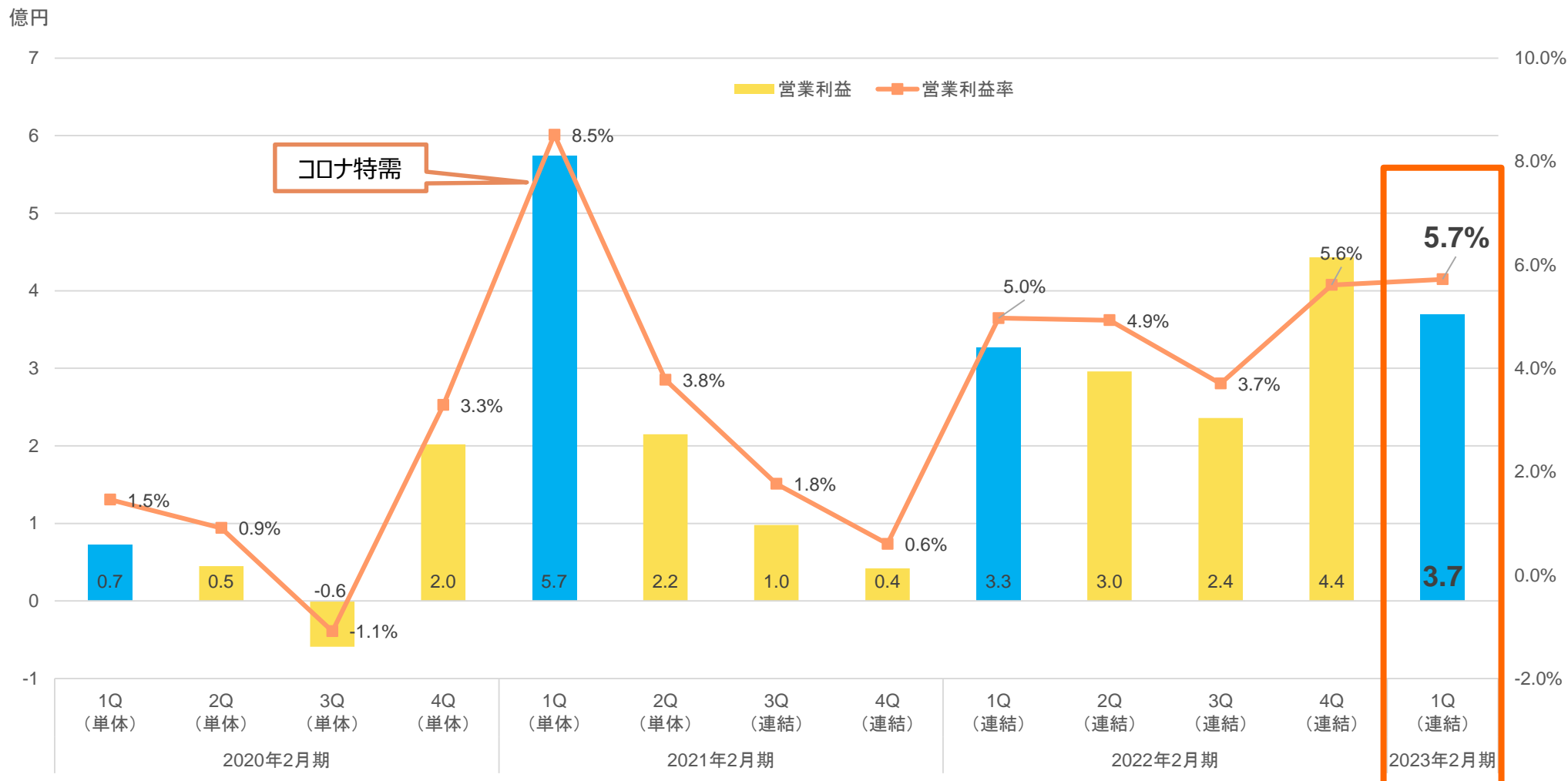
四半期ごとの売上高の推移

- 収益認識に関する会計基準の適用の影響により、1.58億円売上高が減少しました
- 当第1四半期は前年第1四半期から売上高が1.28億円減少し、**約64.5億円**、98%の着地でした



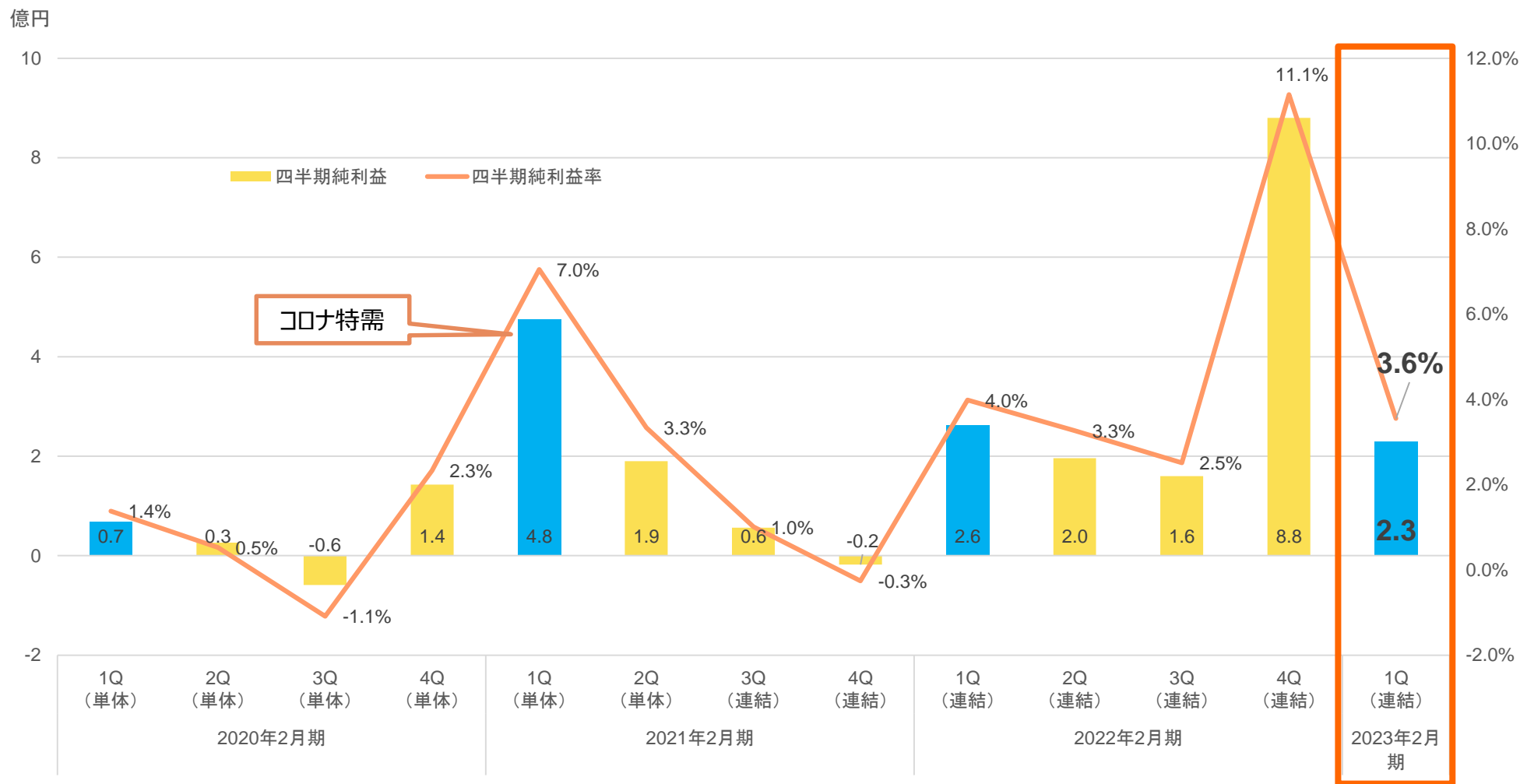
四半期ごとの営業利益・同利益率の推移

- 第1四半期は順調に利益を積み増し、営業利益約**3.7億円**、前年比**112.8%**を達成しました
- 営業利益率は引き続き高水準で推移し、コロナ特需の2年前の1Qに次ぐ**5.7%**でした



四半期ごとの四半期純利益・同純利益率の推移

- 四半期純利益は繰延税金資産の取り崩しの影響もあり前年同期比微減となりました
- 結果として、四半期純利益は約**2.3億円**となり第1四半期として順調なスタートを切りました

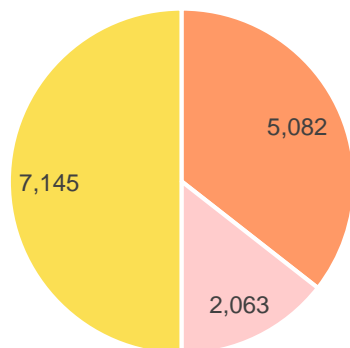


2023年2月期第1四半期の貸借対照表の主要科目と推移

- 直営店舗やFC店舗の出店、商材の外販に備えて買取を強化して在庫を積み増しています
- 前期末から利益剰余金を積み増しましたが、3億円の自己株式の取得により純資産が減少しております

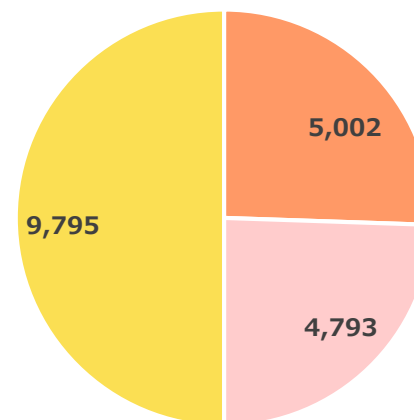
(単位：百万円)	2019年2月期 (単体)	2020年2月期 (単体)	2021年2月期 (連結)	2022年2月期 (連結)	2023年2月期 1Q (連結)
現金及び預金	1,296	1,489	2,043	1,756	1,446
商品	3,403	2,854	2,907	3,150	3,573
総資産合計	7,145	6,855	8,243	9,365	9,795
長期借入金 (1年内返済予定含)	2,022	2,317	1,866	1,853	1,732
負債合計	5,082	4,526	4,667	4,474	5,002
純資産合計	2,063	2,328	3,575	4,891	4,793
自己資本比率	28.7%	34.0%	43.4%	52.2%	48.9%

2019年2月期
単体BS



■ 総資産合計 ■ 負債合計 ■ 純資産合計

2023年2月期
1Q連結BS



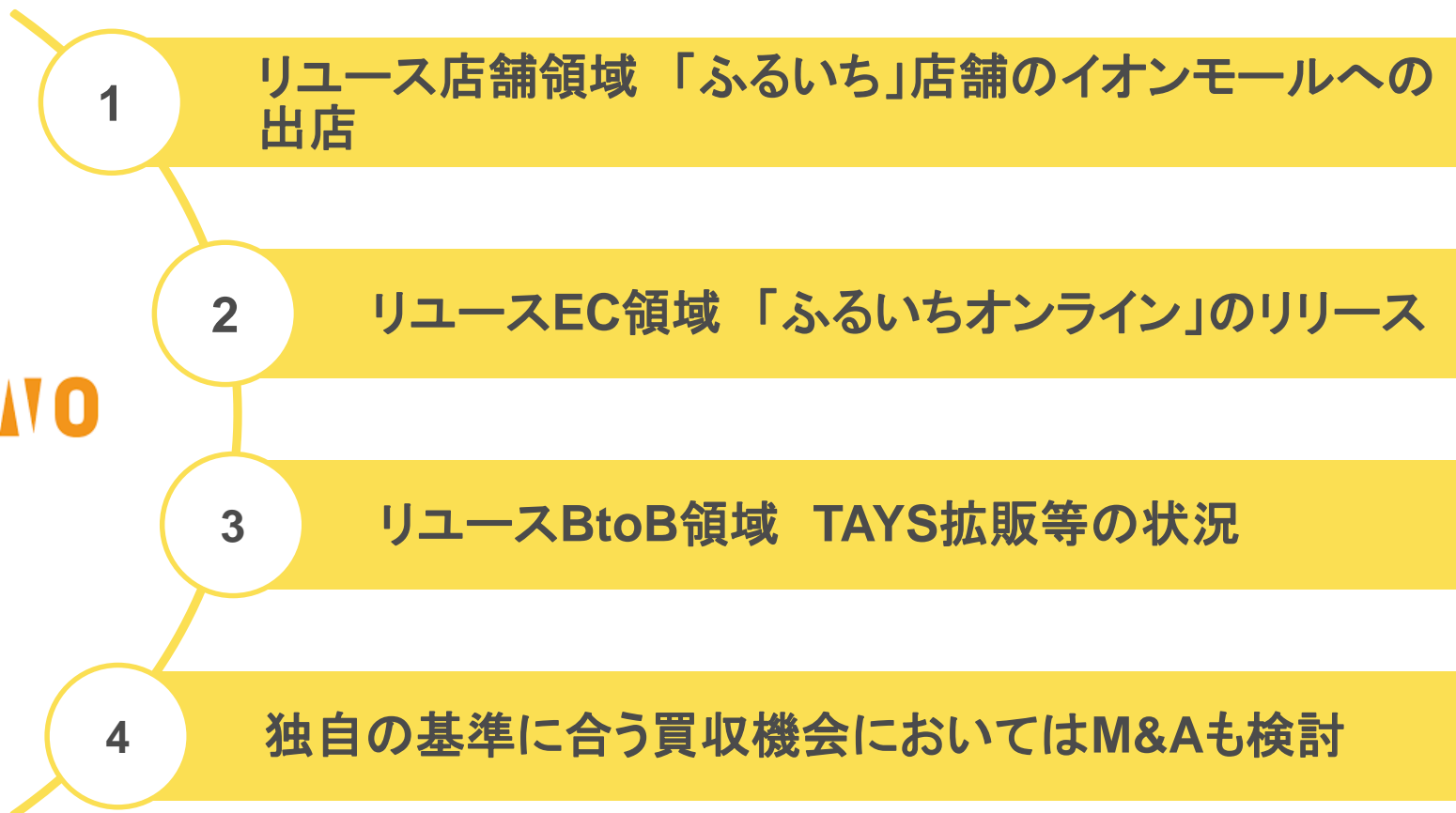
■ 総資産合計 ■ 負債合計 ■ 純資産合計



3. 成長戦略の進捗状況

各事業領域における成長戦略の取組進捗状況

TAY TWO

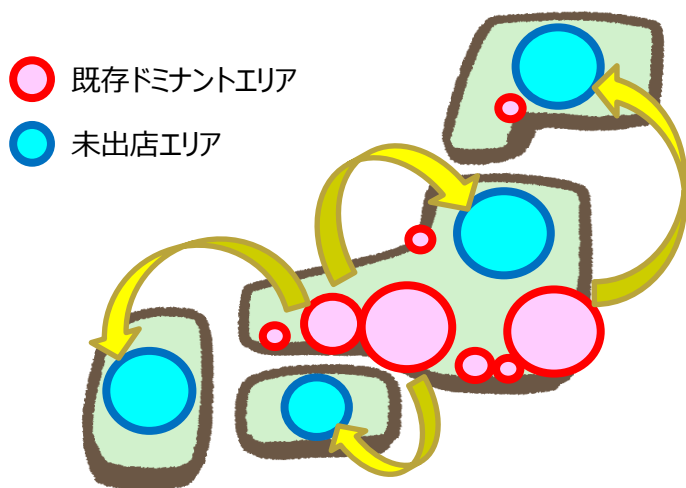


店舗の出店方針

- 当社はこれまで、関東・関西・中国の3地域を中心としたドミナントエリアを主体に出店を行ってきました
- 直近の出店店舗は、イオンモールへの古本市場の小型パッケージ「ふるいち」の出店です

① 直営店舗出店の方針

- 今後の出店はこれまで培ってきたノウハウをいかして、イオンモールへの店舗の出店を通じて、未出店エリアへの「ふるいち」出店拡大を進めます
- 商店街立地等の人口集積地への「ふるいち」出店を進めます
- 新しい立地へのチャレンジとして、郊外型路面店の「ふるいち」出店にチャレンジします



② イオンモールへの出店継続

- コロナ禍を経て、これまで出店が難しかったイオンモール等への立地への出店も可能になりました
- 大型ショッピングモールへの出店は通りすがりのお客様と「ふるいち」店舗の貴重な接点の場となるため、店内営業にとどまらずモール内での企画を通じて「ふるいち」のファン拡大も目指します



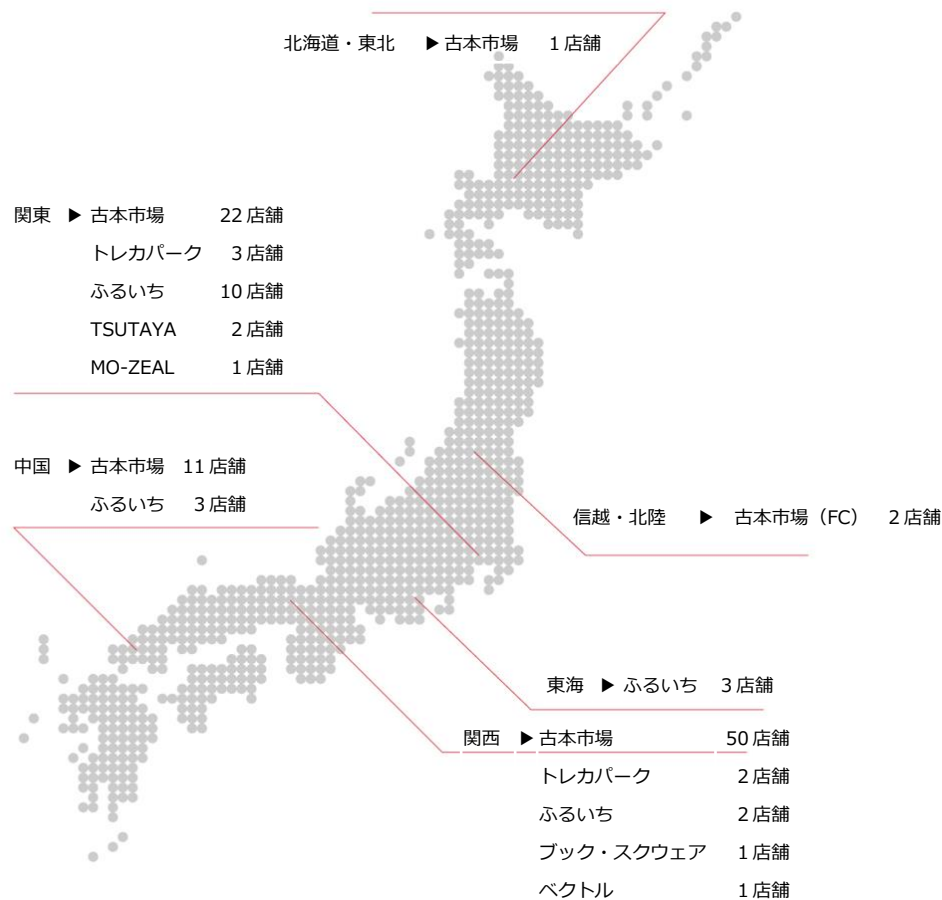
イオンモールつくば店（2022年3月25日オープン）

前期から今後の店舗出店の状況

- 2023年2月期は、「ふるいち」で10店舗の出店を予定しています
- 第2四半期以降**トップカルチャー社（7640）**との合併会社トップブックス社を通じて、FC店舗として「ふるいち」屋号のインショップ店舗の出店を行います

※2022年5月31日現在
直営店舗112店、FC店舗2店

地域別店舗分布



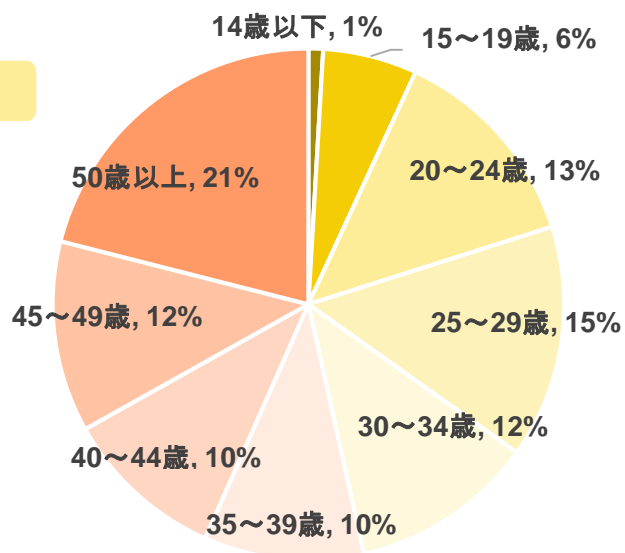
出店状況

- 前期は、主にゲーム、トレカ、ホビーに特化した古本市場の小型パッケージである「ふるいち」屋号店舗で**11店舗（うち9店舗はイオンモールへの出店）**の出店を実現
- 2023年2月期第1四半期の直営店舗出店は**1店舗**
- 第2四半期以降直営店舗は**9店舗以上**の出店を予定（7月以降の出店予定➡愛知県:AM木曾川店、AM熱田店 石川県: AM白山店、富山県: AM高岡店等）
- FC店舗もトップブックス社を通じて複数店舗の出店を計画
- その他法人様からも「ふるいち」屋号のFC店舗に関心が高く、今後**FC展開**もリユース店舗領域の柱として**戦略組み入れ**を計画中

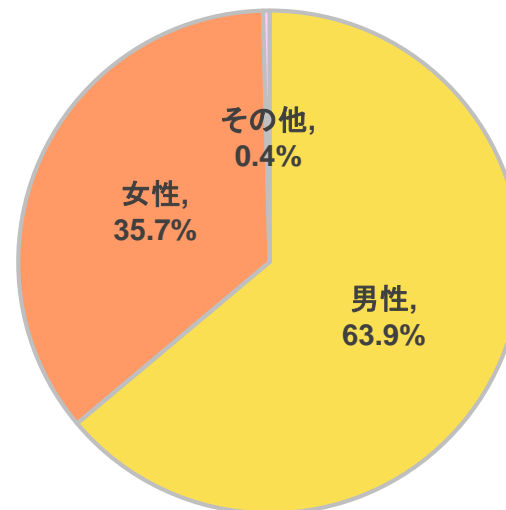
ふるいちアプリ会員の入会状況と顧客属性

- 2021年2月にリリースした「ふるいちアプリ会員」は、順調に会員数を伸ばしています
- 2022年9月にリリースする「ふるいちオンライン」と会員基盤は共通です

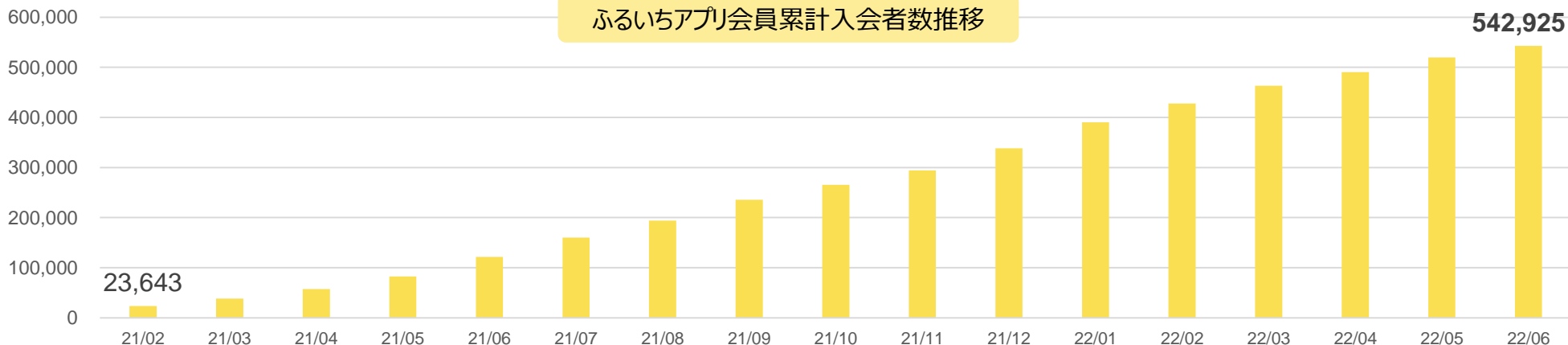
年齢別



性別



人



「ふるいちオンライン」のリリース

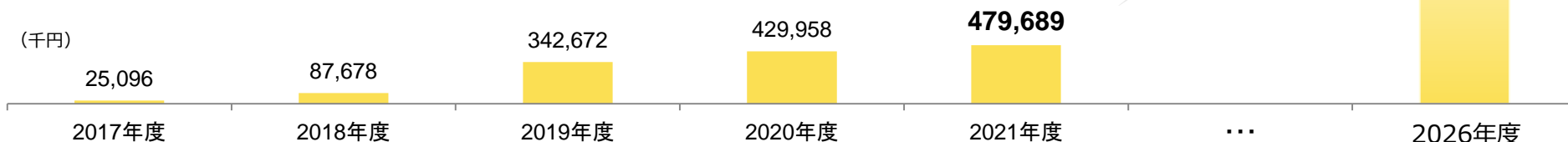
- **2022年9月上旬のリリース**に向けて開発の最終段階に入っております
- 前期末時点で**約26億円**のリユースEC領域の売上高を「ふるいちオンライン」によって引き上げていきます

グループECサイト「ふるいちオンライン」の進捗

- 9月にはグループECサイト「**ふるいちオンライン**」のリリースし、店舗とECを一体的に運営することでEC領域を強化し、ECでの売上高を大きく伸ばしていく方針です
- 当初は、中古トレカ、中古ゲーム、新品ゲームの販売からスタートし、適宜取扱商材や機能を追加していきます
- 2026年度には「**ふるいちオンライン**」で**100億円**の売上高を目指します

ふるいちオンラインでの
目標売上：100億円

テイツー単体EC部門売上高の推移



リユースBtoB領域 ～TAYSの拡販状況～

- TAYSは、2022年1月の契約第1号案件から順調に外販を積み重ねております
- 多数の引き合いをいただいております、複数の多店舗展開法人様と交渉継続中です

トレーディングカード読取査定機「TAYS」

- AI機能を搭載した自社開発のトレーディングカード読取査定機「TAYS (テイズ)」の外販が順調に進行中です
- 専門知識が無くとも自動でトレカ査定が可能になり、買取の効率化と店舗オペレーションの平準化が実現出来るため、総合リユース店舗からの引き合いを多数いただいております
- これまでの当社にはないBtoBという新たな事業の柱を構築すべく、強力に事業育成をしていく方針です

<TAYSの特徴>

- カードは1度に80枚までセットすることができ、毎分約30枚の速度でスキャンが可能
- POSへの入力はJANコードでの入力・データの連携が可能
- 査定対象トレカは、遊戯王・デュエルマスターズ・ポケモンカード・ドラゴンボールヒーローズなどと豊富で、主要トレーディングカードに幅広く対応



リユースBtoB領域 ～トレカ自販機の外販状況～

- TAYSと同じくトレカ自販機についても、他法人様からの引き合いが多数あります
- トレカ自販機の調達に尽力しておりますが、上海ロックダウンの影響によりその調達が下期以降にずれ込みます

IoT高機能トレカ自販機

- 当社とアドインテ社（京都市）とで共同開発した、Beacon・GPS・サイネージを活用したロケーション広告機能、QRコード決済対応機能を併せ持った高機能トレカ自販機です
- 当社の「ふるいち」店舗や「古本市場」店舗の一部店舗にも導入しており、大型のデジタルサイネージによる広告効果や大当たり商品の視認性の良さもあり、売上は好調に推移しています
- 発注済自販機が上記影響により納品が遅れ、本格的な外販は下期からの予定です

<汎用型自販機>



<高機能デジタルサイネージ自販機>



M&A方針

- 2020年6月にグループ入りをした山徳は、堅実な成長によりテイツーグループに多大な貢献をしております
- 今後も当社独自の基準に適合する買収機会があった場合には、積極的にM&Aを実施していく方針です

グループ入り後の山徳の成長



	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期
売上高	1,751	1,485	1,663	1,760	2,338
粗利	1,394	1,161	1,286	1,282	1,769
販管費	1,406	1,227	1,291	1,061	1,211
営業利益	-12	-65	-4	221	558
経常利益	7	-19	1	248	561
当期純利益	7	-19	-44	182	391

※2019年12月期以前は山徳社と着物社の単純合算数値

今後のM&A方針

- リユース事業またはエンタメ事業の周辺領域において、他社との連携も含めた事業施策を検討
- 企業価値向上に資すると判断された場合には、今後も積極的にM&Aを活用していく方針

事業領域

- 当社取扱商材と親和性の高い領域で事業を展開する会社
- ECを主戦場としている会社あるいは当社展開地域外でリアル店舗を展開する会社

会社規模

- 取得価格で10億円程度までの規模を想定するが、それ以上の規模であってもエクイティファイナンスの手法も考慮して取得検討

取得方法

- 100%株式取得を想定
- ただし、案件により100%株式取得にこだわらず、資本提携や業務提携など、多様な手段で外部連携を検討

買取王国との業務提携の状況

- 業務提携基本契約の締結後、両社間で定例のMTGを設定するなど連携を強化しております
- トレカや商材多様化でのかかわりの他にも両社間での連携の在り方を協議しております

具体的な提携内容

- 買取王国でのトレーディングカード取扱強化の支援

当社のトレーディングカードAI読取システム「TAYS（テイズ）」を、2023年2月期中を目途として、中部圏を中心とする買取王国業態の店舗に導入していただき、買取王国でのトレーディングカード取り扱いの強化を支援いたします。

- 商材多様化での人材交流

当社がリアル店舗事業の戦略として推進する商材多様化について、その取り組みを加速させるため、先行して多様な商材を取り扱うノウハウを保持している買取王国社に人員を受け入れてもらう等そのノウハウの提供を受け、そのノウハウを古本市場店舗等で展開します。



TAY TWO
株式会社 テイツー

4. その他

ESGの取り組み

- 当社は地方自治体と協力して町の活性化に取り組むなど、リユース業者としてESGへの取り組みにも力を入れています

岡山県真庭市の小学校再生プロジェクト

- 2019年3月に閉校した旧二川小学校にマンガ本10万冊を寄贈し、町の施設運営をサポートしています
- 2022年4月に「ふるいち二川マンガ館」としてグランドオープンしました



岡山県真庭市の小学校再生プロジェクト

町の活性化プロジェクト(トキワ荘マンガミュージアム)

- エンタメ商品の原点であるマンガの聖地:トキワ荘マンガミュージアムに隣接した「ふるいち」を町の協力のもと出店しました
- マンガ文化を全国で発信する「ふるいち」の聖地としても今後深く関わり、世界に向けた発信拠点として活動に注力します



豊島区のマンガの聖地:トキワ荘マンガミュージアムを拠点とした町の活性化プロジェクト

還元方針

- 過年度の不振を完全に脱し、新たな成長段階に入ったこともあって自己資本比率は急回復しました
- 復配も実現し、今後は総還元性向にも目配りしながら、**株主還元を強める**方向に舵を切ります

2022年4月14日に決定した自己株式取得の完了

■取得の概要

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 3,000,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合4.41%） |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 300,000,000円（上限） |
| (4) 取得期間 | 2022年4月15日から2022年8月31日まで |
| (5) 取得方法 | 市場買付 |

■取得の完了

- | | |
|------------|---------------------|
| (1) 取得株式総数 | 3,000,000株 |
| (2) 取得総額 | 268,405,200円 |

■2022年5月31日時点での自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）	68,008,451株
自己株式数	3,655,887株

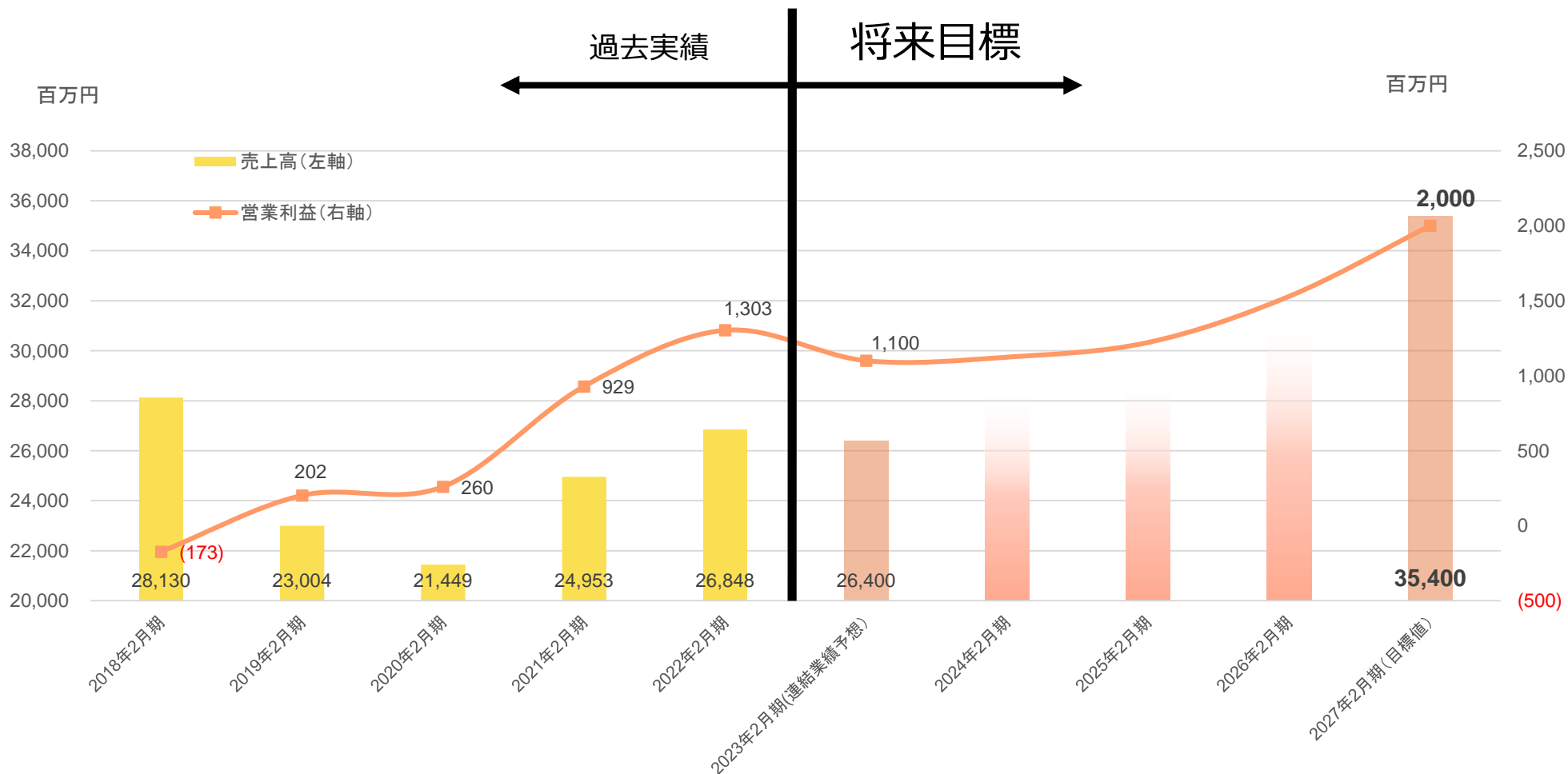
株主優待

- 当社は、株主の皆様への日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただけること、当社が運営している店舗の活性化を図ることを目的として、株主優待制度を導入しております
- ECでの優待使用の検討や継続保有条件の再検討など、今後もより魅力的な株主優待にするべく、ブラッシュアップを図ります

保有株式数条件	継続保有条件	優待内容	
1,000 株 ~1,999 株	-	当社中古商品割引券	1,000円相当
2,000 株 ~4,999 株	1年未満	当社中古商品割引券	2,000円相当
	1年以上		3,000円相当
5,000 株 ~9,999 株	1年未満	当社中古商品割引券	5,000円相当
	1年以上		8,000円相当
10,000 株以上	1年未満	当社中古商品割引券	10,000円相当
	1年以上		20,000円相当

長期目標数値

- 5年後の2027年2月期には、売上高で**354億円**、営業利益で**20億円**を目指します
- 執行取締役に対して業績条件付RSを、営利目標達成へのインセンティブとして付与決議しました
- 2027年2月期までの期間中、每期**7億円以上**の当期純利益を積み上げ、株主還元にも目配りしていきます



5. 參考資料

テイツー会社概要

会社概要

社名	株式会社テイツー	
上場	東京証券取引所 スタンダード (7610)	
屋号	古本市場 (ふるほんいちば)、ふるいち、トレカパーク、MO-ZEAL (モジール)、TSUTAYA、ベクトル	
創業	1989年10月	
設立	1990年4月	
代表者	代表取締役社長 藤原 克治	
資本金	1億円 (2022年2月末現在)	
事業内容	家族で楽しめる廉価な娯楽を提供する店舗の運営 古本、家庭用ゲームソフト・ハード、トレーディングカード、ホビー、スマートフォン、衣料・服飾品、CD・DVD等の販売および買取、CD・DVD等のレンタル	
主要取引銀行	山陰合同銀行、三井住友銀行、埼玉りそな銀行、商工組合中央金庫、三菱UFJ銀行、高知銀行 トマト銀行	
事業所	(本社) 〒700-0974 岡山県岡山市北区今村650番111 (関西支社) 〒538-0053 大阪府大阪市東成区東今里2-1-4 (関東支社) 〒340-0011 埼玉県草加市栄町3-9-41	
役員	代表取締役社長 取締役管理本部長兼人事総務部長兼COO 取締役営業本部長兼店舗運営部長 取締役経営企画室長 取締役営業本部副本部長兼商品企画部長 取締役 取締役 (常勤監査等委員) 取締役 (監査等委員) 取締役 (監査等委員)	藤原 克治 青野 友弘 光本 泰佳 新田 真三 荒金 祥行 岩瀬 裕真 塚本 陽二 廣瀬 方利 稲田 英一郎 (2022年5月末現在)
従業員数	正社員 パート・アルバイト	283名 1,449名 合計1,732名 (2022年2月末現在)

TAY TWO

1989年	・岡山市南区豊浜に「古本市場」(現豊浜店)を創業
1990年	・株式会社テイツー設立
1994年	・「古本市場」関西進出(現西宮店)
1995年	・POS導入開始
1996年	・本社を岡山市北区今村に移転
1997年	・「古本市場」関東進出(旧東大和店)
1999年	・株式店頭公開(現東証JASDAQ)
2002年	・ポイントカード「ふる1カード」導入
2005年	・東京本部を設置し本部機能を東京に移転
2010年	・「古本市場」直営店が100店舗突破
2013年	・トレカ専門店の1号店「トレカパーク 日本橋店」(大阪市)を新規出店
2017年	・会社立て直しのため、東京本部を解体し機能を分散移転
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年2月期に2013年2月期以来6年ぶりに最終黒字化を達成 ・AI機能を搭載した自社開発のトレーディングカード読取査定機「TAYS(テイズ)」を直営店舗で運用開始
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなPOSシステム「TPOS」の導入完了 ・東京都豊島区のトキワ荘マンガミュージアム隣接地に新業態のブックカフェ「ふるいちトキワ荘通り店」を出店 ・山徳社の株式を取得し完全子会社化 ・イオンモールへ小型店舗「ふるいち」展開開始
2021年	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるいち会員に対してLINEminiアプリの提供を開始 ・グループビジョン「リユースで地域と世界をつなぐ」と成長戦略を公表 ・グループECサイト構築を決定
2022年	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーディングカード読取査定機「TAYS(テイズ)」の外販開始 ・買取王国社と業務提携基本契約を締結 ・2027年2月期の長期定量目標(売上高354億円、営業利益20億円)を発表

経営陣紹介

- 当社は、赤字体質を脱却させて当社を成長軌道に乗せた経営陣のもとで、成長戦略に沿った会社の成長に努めており、さらなる成長機会をうかがっております



代表取締役社長
藤原 克治

- 東海銀行 (現三菱UFJ銀行)を経て2001年1月当社入社
- 2017年5月より当社代表取締役社長 (現任)



取締役営業本部副本部長 兼 商品企画部長
荒金 祥行

- 2000年4月当社入社
- 2020年6月より株式会社山徳取締役 (現任)
- 2021年5月より当社取締役営業本部副本部長兼商品企画部長 (現任)



取締役管理本部長 兼 兼人事総務部長 兼 チーフ・コンプライアンス・オフィサー
青野 友弘

- 1998年4月当社入社、2022年6月より当社取締役管理本部長兼人事総務部長兼チーフ・コンプライアンス・オフィサー (現任)
- 2020年6月より株式会社山徳取締役 (現任)
- 2021年3月よりインターピア株式会社取締役 (現任)



取締役
岩瀬 裕真

- 2010年6月株式会社山徳入社、2017年3月同社再入社
- 2019年4月より株式会社山徳代表取締役社長 (現任)
- 2021年5月より当社取締役 (現任)



取締役営業本部長 兼 店舗運営部長
光本 泰佳

- 1999年4月当社入社
- 2020年3月より当社取締役営業本部長兼店舗運営部長 (現任)



取締役 (常勤監査等委員)
塚本 陽二

- 1982年4月東洋工業株式会社 (現マツダ株式会社) 入社
- 2001年4月当社入社、2015年5月より当社常勤監査役、2019年5月より当社取締役 (監査等委員・常勤) (現任)



取締役経営企画室長
新田 真三

- 1988年7月三和総合研究所 (現三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社) 入社
- 2018年12月より当社顧問、2021年3月より当社取締役経営企画室長 (現任)



取締役 (監査等委員)
廣瀬 方利

- 1976年4月株式会社山陰合同銀行入行
- 2017年5月より当社社外監査役、2019年5月より当社社外取締役 (監査等委員) (現任)



取締役 (監査等委員)
稲田 英一郎

- 2005年5月公認会計士登録
- 2010年1月稲田公認会計士・税理士事務所開業 (現任)
- 2020年7月より当社社外取締役 (監査等委員) (現任)

グループの経営理念と成長戦略

満足を創る

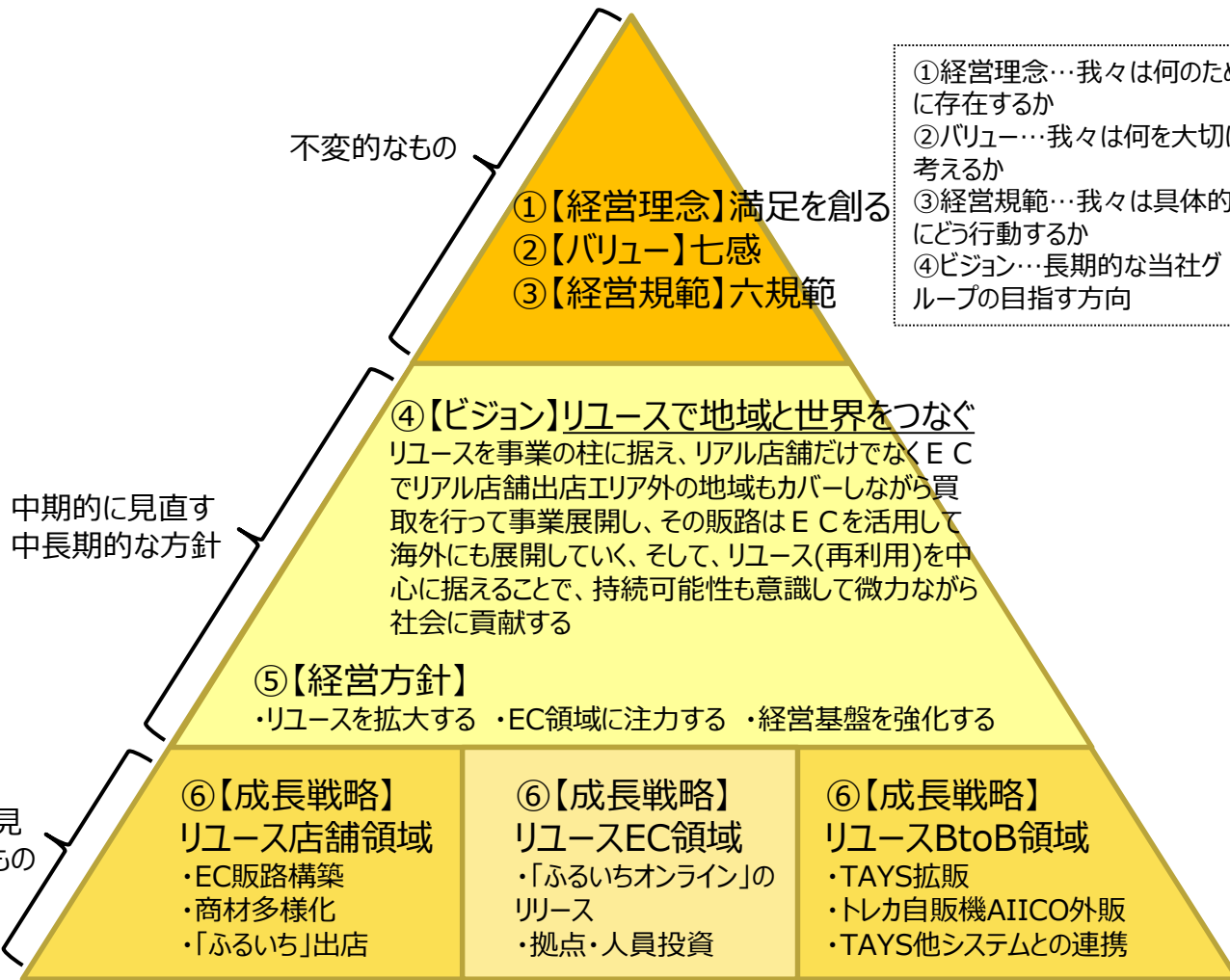
当社グループ経営理念「満足を創る」のもと、グループビジョンと経営方針に沿って、3つの事業領域におけるそれぞれの成長戦略を「2022年度ティーツーグループ成長戦略」と定めて、その具体策を実行しております。

当社は、「満足を創る」を経営理念とし、「満足を創る」ことで社会に貢献することを使命とします。

当社は、当社が存在する社会の一員であることを自覚し、事業を通じて、良質な商品とサービスを永続的に提供し、顧客に対して「満足を創る」ことで、社会に貢献します。

この使命を達成するために、現状にとどまることなく、創意工夫をもって、常に変革を追い求め、事業の発展を通じて、世の中に満足を作り出す社会貢献を実現します。

- ⑤経営方針…グループビジョンの実現に向けて注力する事項
- ⑥成長戦略…経営方針に沿って各事業領域で具体的に取り組む事項



- ①経営理念…我々は何のために存在するか
- ②バリュー…我々は何を大切に考えるか
- ③経営規範…我々は具体的にどう行動するか
- ④ビジョン…長期的な当社グループの目指す方向

子会社山徳の概要

- 山徳はグループ入りして以降、レコードなどの新商品の取り扱いも開始しています
- 当社のEC戦略において重要な位置づけです

2020年からグループ入りした山徳



社名	株式会社山徳
本社所在地	石川県金沢市長坂台1-38 山物ビル
設立	1990年9月
代表者	代表取締役社長 岩瀬 裕真
事業内容	国内・海外インターネットでのリユース品の売買
買収の背景	<ul style="list-style-type: none">当社で取り扱いの無かったトレカ商品やアイドルグッズ等のノウハウを保有しており、商材多様化に資するものと想定。また、山徳の確立された国内外へのEC販路を活用することで、当社店舗の買取商品の流通ルート拡大等の大きなシナジー効果も期待加えて、山徳の特筆すべき強みである『ebay』サイトを通じた海外100か国以上に及ぶ販売ルートの活用により、中期経営計画目標である海外販路の構築において、店舗出店や卸売以外の新たな手法を早期に実現することを期待

現在の取扱商品

ゲーム



レトロゲ

アイドルグッズ



ジャニヤード

着物



着物10

トレーディングカード



トレトク

レコード



Bee Records

貴金属



貴金属買取ヤマトク

ブランド品



ブランド買取ヤマトク